

丸の内トラストタワーN館 震災対策のご案内

■丸の内トラストタワーN館の構造強度及び地盤について

制震構造で建築されています。

震度6強クラスでは内装が壊れない程度を保て、震度7クラスでも躯体に損傷はないといわれています。よって、地震では倒壊し辛い構造といわれています。

ビルの地盤は深度ボーリング調査により極めて堅固な洪積世東京礫層であることが確認されています。ビルの基礎はこの地盤へ支持する直接基礎ですので、地盤液状化の心配もありません。

尚、火災時では避難階段に煙が流入しないよう、負圧（マイナス圧）になっており、煙は入ってきません。

■地震発生時の対応について

緊急地震速報が震度4で全館に放送が流れます。直近の予報としてすばやい安全行動がとれます。

■非常時の避難誘導・避難場所

震災時は基本的にビル内が安全です。

火災時のみ外へ避難しますが、全館放送で混乱しないよう数フロア単位で避難します。避難場所は、N館前の空き地を予定しています。

■震災時の停電対応について

非常用発電機は連続最大48時間運転です。

照明は、避難活動ができるレベルの点灯になります。セキュリティや非常用エレベーターは動きますが、常用エレベーター・空調関係・OA電源関係は全て落ちます。

■非常時の水・食糧などの緊急時備蓄の状況

一人当たり1食分の水と、非常食（カンパン等）を配給します。